



施工後、皮膜が完全硬化するには、一般的な作業ではひと月ほど要するのだが、独自開発のファイナライズ処理設備により、短時間で皮膜を完全硬化させることが可能。

→日本コーティング協会の1級試験でも審査されるコミュニケーション能力は、コーティングの仕上がり大きく左右する重要なポイントと考えている。施工技術と同様に接客も非常に重視しているそうだ。

ワイドボディが多いスーパーカーのために、サイドの柵をなくした低床トランスポーターも導入済み。このタイプを使用することで、エアロパーツやホイールなどを傷つける危険が大きく減ったそうだ。



究極のコーティングは コミュニケーションから生まれる



暗幕で囲われたブース内に多様な色の光源が備えられた研磨スペース。光源を活かすことで、かすかなキズも見逃さずに研磨することができる。コーティング作業の要だ。



ファイナライズ処理設備は、コーティングの施工場所としても使用している。施工後、クルマを動かすことなく硬化させるため、ホコリの混入を許さないなどメリットは多い。

ボ

ディの塗膜を守る役割を持つコーティングは、種類もさることながら施工方法もさまざま。さらにコーティング以外の方法も存在するので、どれを選べば良いのか？と悩んでいるユーザーも多いだろう。その難しい問題についてカービューティーマックスの友成代表は、このように考えている、と語る。

「コーティングの液剤には、硬度を重視するタイプ、ツヤを重視するタイプというように、特性ごとに数多く存在しています。だからこそプロのナビゲーションが必要なのです。」

ただし、ベストのコーティングを提案するためには、お客さんの使用環境を知る必要があるわけです」

そのためカービューティーマックスでは、商談時のコミュニケーションに力を入れているという。車両の保管状況はもちろんのこと、洗車の頻度やコーティングで重視するのはどの部分なのか？というところまで、きっちりと聞き取り、そしてベストの施工を提案しているそうだ。

意思の疎通が究極のコーティングの第一歩。施工するコーティングが高く評価されている理由は、技術のみならず、顧客の求めるニーズをしっかりと汲み取る丁寧な営業スタイルのおかげでもあるのだろう。

世界が認めたこの技術



Car Beauty MAX www.max1996.com

TEL 06-6853-3666

カービューティーマックス 検索



Geneva Motor Show2014

日本コーティング協会 認定施工店